

枚方教育

No. 1492
2009.11.17

枚方教職員組合
枚方市西禁野一―三
八四八三三〇〇
FAX 八四八三〇五二

府が来年度公立高校入学定員枠を増やし

私立高校無償化(年収350万以下世帯)を決定

経済的理由などで進学をあきらめる生徒が出ないよう、大阪府は2日、年収350万円以下の世帯の私立高校授業料を実質無償化し、併せて公立入学定員を約3千人増やす方針を決めました。

昨年経済不況に加え、橋本「行革」による私学助成削減から多くの私学が授業料を引き上げた結果、この春の入試では公立高校への進学希望者が大きく増え、前・後期入試や夜間定時制の2次入試まで殺到し、不合格者が多数出ました。

来春の中学校卒業生は前年

度比で約3500人増え、2014年度まで増加傾向が続きます。公私の入学定員はこれまで「7対3」とするよう取り決められてきましたが、府教委は、来春の卒業予定者など自然増加分に加え、960人(24学級)の別枠を設け入学定員を今年度より約3千人増やします。

枚方教組は、「学ぶ権利」が奪われてはならないと全日制高校の入学枠の大幅拡大を求めるとともに教育・文化を守る大阪府民会議が呼びかけた緊急署名に取り組み、「枚方の教育を語るつどい」への参加

を呼びかけた団体にも署名の協力をお願いし、多くの署名が寄せられました。今回の府の方針は、私たちの運動や、切実な府民の要求を反映したものです。

一方府内の私立高校94校の平均授業料は約55万円。府は現在430万円以下を対象に年間25万円助成しています。が、新政権が予定している年間500万円以下の世帯への年間24万円の助成と合わせ、年収350万円以下の世帯へ最高55万円まで助成します。これは私学助成を強く求める運動の大きな成果です。

子ども手当も年金も生活保護も全部統合して社会保障の基礎部分として払う究極の政策である

そういえば、金持ちは多くが生活保護をせめて受けるからもう実現してるよなもんや



教育条件未整備のまま、支援分校(畷北高校舎)のスタートするな!

15日メセナ枚方において、北河内の特別支援教育を進展させ、枚方の支援学校づくりをすすめる実行委員会の主催で、「北河内の分校・新校を考えるつどい」が開かれ、北河内の3つの支援学校の教職員や保護者、地元の学校に通う保護者や教職員、そして関心を寄せる市民が多数集まり、現状についての問題点や意見表明を行いました。

国が特別支援学校の生徒増に伴う過大・過密解消を打ち出し、府も4地域で、知的障がい支援学校の整備着手を表明。北河内地域においては、新たな支援学校が枚方・旧村野中に新設できる予定で、新校開校までの間は、分校として廃校予定の畷北高校舎を使用する予定で話が進んでいました。

ところが9月になって府教委は、予算上スプリンクラー設置が無理、その為消防法上使用床面積を大幅に縮小する。予算面から自校給食の設備出来ず、畷の給食センターからの提供を受ける。分校対象に突如「四条畷市」を追加。仮称を交野支援学校分校とする。といういずれも重大な問題点を持つ、

不合理な府教委説明で、広がる戸惑いと疑問、そして怒り。



分校整備上の新たな提案をしました。スプリンクラー設置は、安全や命の問題です。しかも見送りにより、床面積減となり教室確保にも影響が出る始末。早期の新校開校メドも立っていないのに、分校に行く予定の子ども達の教育条件が大変ひどいものになるのは許せません。枚方から中学・高校の支援学校・分校を選択する保護者や児童にとっても無関心ではおられません。大阪府ならびに府教委は、WTC購入に多くの予算を計上する前に、早期の支援学校の新校開校計画と子ども達の命にかかわる施策の推進(分校の教育条件整備)に予算確保することこそ、優先すべきです。



全教共済・大教済 創立20周年

600円で大きな恩恵 総合共済

かなしみも、よろこびも わかちあって20年

更新してあります。教職員なら誰でも加入できます。年中いつでも加入できる総合共済は、早く加入すればするほどオトク!

加入時35歳以下の方には、コンビニなどで使えるQuoカードをもらえるプレゼント! 今すぐ「大教済」で検索

過去最高の加入者数を更新中

お祝い・お見舞い 給付件数 (昨年度 主なもののみ)

結婚祝金 1万円	219件
出産祝金 5千円	281件
結婚記念日祝金 2万円	204件
親死亡見舞金 1万円	284件